

企業・大学等との連携取組一覧

(令和7年度実施)

No.	企業大学No.	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)	部・担当課	新規/継続
1	企1	第一生命保険株式会社	(3)高齢者の支援に関する事。	「たからづか地域みまもり隊」事業所として、訪問先や店舗において気になる方や異変を察知した場合にその方の居住地もしくは事業所の住所を担当地域包括支援センターに連絡するなど、日ごろからの見守り支援に協力いただいた。地域住民に多くの見守りの目が向くことで、支援が必要な方の早期発見、対応に繋がっている。	通年	健康福祉部 地域福祉課	継続
2	企2	大塚製薬株式会社	(4)防災・減災対策等地域の安全・安心に関する事。	災害時における備蓄、ローリングストックの啓発のために、災害時協定を締結しているmikjapan主催のイベントに共同でブースを出展した。	4月	都市安全部 総合防災課	新規
3	企3	大塚製薬株式会社	(2)健康維持・増進に関する事。	熱中症対策健康会議(R7.5.20)を市と共同開催し、熱中症対策について、国からの情報や、参加した各機関、企業の取組を共有した。 市内の熱中症患者の発生状況や応急処置に関する講演を実施した。	5月	環境部環境 エネルギー課  消防本部 救急課	新規
4	企4	大塚製薬株式会社	(2)健康維持・増進に関する事。	熱中症啓発チラシを作成していただき、保護者連絡アプリ「すぐーる」を用いて市立小中学校に通う児童生徒の保護者へ配信した。 また、学校給食調理員を対象とした熱中症対策講座を実施していただいた。	5月～6月	管理部学事課	新規
5	企5	大塚製薬株式会社	(2)健康維持・増進に関する事。	高齢者を対象に熱中症予防を知らせるための啓発チラシを作成していただき、担当課で6,000枚印刷して、配布した。	5～9月	健康福祉部 高齢福祉課	継続
6	企6	大塚製薬株式会社	(4)防災・減災対策等地域の安全・安心に関する事。	文化創造館主催の宝塚ぼうさい劇場において、災害時の備蓄、ローリングストック啓発のために、備蓄の参考資料を貸与いただいた。	9月	都市安全部 総合防災課	新規
7	企7	明治安田生命保険相互会社	(2)市民の健康づくりに関する事。	営業職員が顧客(宝塚市民)の自宅や職場への訪問及びオンライン面談の際に「健康増進」「介護・認知症」「子育て」「防災」の4つの分野に関する市民の関心ごとを聞き取り、同社のタブレット端末を使用して最適な市の行政サービスを直接案内するサービスを実施した。	通年	企画経営部 企画政策課	継続
8	企8	明治安田生命保険相互会社	(1)高齢者をはじめとした市民のQOLの向上に関する事。	フレイル予防リーフレット、フレイル予防カレンダーを贈ろうキャンペーンちらしの配布、イベント応援写真の提供	7月	市民交流部 高齢福祉課	継続
9	企9	明治安田生命保険相互会社	(4)産業・観光振興の支援に関する事。	宝塚植木まつり(主催:宝塚市・宝塚市花き園芸協会)の開催に伴い、同社から宝塚市花き園芸協会に対し、祭事助成として寄附をいただいた。本助成は同社が推進する地域貢献や地域の活性化に取り組む「地元の元気プロジェクト」の一環。同様に宝塚植木まつりにも血管年齢測定等のブースを出展していただいた。	10月	産業文化部 農の魅力創造課	継続
10	企10	明治安田生命保険相互会社	(5)その他、両者が協議し、必要と認める事。	寄附金を基に、卓球台を2台購入した。	3月	社会教育部 スポーツ振興課	継続

No.	企業大学No.	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)	部・担当課	新規/継続
11	企11	ALSOK株式会社	(2)地域の安全・安心に関すること。	「たからづか地域みまもり隊」事業所として、訪問先や店舗において気になる方や異変を察知した場合にその方の居住地もしくは事業所の住所地を担当する地域包括支援センターに連絡するなど、日ごろからの見守り支援に協力いただいた。地域住民に多くの見守りの目が向くことで、支援が必要な方の早期発見、対応に繋がっている。	通年	健康福祉部 地域福祉課	継続
12	企12	ALSOK株式会社	(1)防犯意識の啓発に関すること。	児童の安全な登下校を終始するために、小学校低学年を対象に警視庁が開発した安全標語「いかのおすし」を基に、ロールプレイ形式で体験しながら危機回避の心構えを学ぶ実践的な防犯授業を実施した。	1月	学校教育部 学校教育課	継続
13	企13	ALSOK株式会社	(1)防犯意識の啓発に関すること。	女性向け防犯講座を市職員を対象に実施していただき、職員の意識啓発を図った。	3月	企画経営部 企画政策課  総務部 人材育成課	新規
14	企14	生活協同組合コープこうべ	(7)その他、両者が協議し、必要と認めること。	出生届出をした新生児に対し出産祝品を無償で提供した。	通年	健康福祉部 健康推進課	継続
15	企15	生活協同組合コープこうべ	(6)食を通じた健康増進の取組に関すること。	①国の食育月間（6月）の期間中、市内9店舗と協同購入センター宝塚の計10か所において、本市が推進中の『第3次たからづか食育推進計画』で掲げる5つの重点目標の中から、店舗ごとに売り場に合ったのぼりの設置と同計画概要版の配布を行い、食育啓発を実施した。  ②第3次たからづか食育推進計画を策定したことを市民に周知・啓発するために、文化芸術センターで開催した食育パネルの展示において、「野菜」をテーマとしたパネルやリーフレット等を作成していただき、食の知識や食の大切さについての情報発信を行った。	6月	健康福祉部 健康推進課	継続
16	企16	生活協同組合コープこうべ	(1)環境にやさしいまちづくりに関すること。	ごみの発生を抑え、資源のリサイクルが進む循環型社会に向けた取組を目指し、食品トレイ・空きかん・牛乳パックなどの資源物の店頭回収を実施しているコープこうべの市内店舗を市ホームページで紹介した。	10月	環境部 クリーンセンター管理課	継続
17	企17	生活協同組合コープこうべ	(7)その他、両者が協議し、必要と認めること。	元気な高齢者が生きがいや地域での活躍の場を得るために実施している「健康・生きがい就労トライアル事業」において、市内店舗を就労先として高齢者を受け入れていただいた。	11月	健康福祉部 地域福祉課	継続
18	企18	生活協同組合コープこうべ	(2)暮らしの安心・安全に関すること。	3月17日に開催した「空き家対策セミナー&相談会」の告知チラシを、コープこうべの個配利用会員や店舗利用者への配布することについて協力を依頼した。	1月～2月	都市整備部 住まいづくり推進課	継続
19	企19	生活協同組合コープこうべ	(6)食を通じた健康増進の取組に関すること。	フレイル予防リーフレット、フレイル予防カレンダーを贈ろうキャンペーンちらしの配布 「フレイル予防イベント@ピビアめふ」での会場提供及び記念品の提供	2月	市民交流部 高齢福祉課	継続

No.	企業大学No.	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)	部・担当課	新規/継続
20	企20	ネットヨタ神戸株式会社	(6)イベントを活用した地域活性化に関すること。	施設の活性化や賑わいを目的に、指定管理者がピピアめふ公益施設・さらら仁川公益施設で主催する「ミニ四駆タイムアタック&ミニ四駆お困り相談会」、「親子ミニ四駆工作教室&レース」のイベントにご協力いただいた。	6月、8月、9月、10月、12月、3月	都市整備部 市街地整備課	継続
21	企21	ネットヨタ神戸株式会社	(8)その他、両者が協議し、必要と認めること。	フレイル予防周知のため、フレイル予防カレンダーを贈ろうキャンペーンのちらしの配置、イベント応援写真の提供	7月	市民交流部 高齢福祉課	新規
22	企22	ネットヨタ神戸株式会社	(4)移動支援サービスに関すること。	第33回宝塚交通安全市民カーニバルにおいて、新たな移動手段である「パーソナルモビリティ」の試乗体験会を実施した。	11月	都市安全部 交通政策課	新規
23	企23	ネットヨタ神戸株式会社	(8)その他、両者が協議し、必要と認めること。	インバウンド誘客や移動負担軽減を目的に、観光庁補助金を活用し、次世代観光モビリティ「C+walkT」「WHILL Model S」を導入し、市内観光スポットを周遊する実証実験を行った。宝塚エリアと清荒神エリアで行い、実施にあたっては、株式会社島家宝塚ワシントンホテル（宝塚エリア）、カフェ&ギャラリー六軒茶屋（清荒神エリア）に観光モビリティのポートのスペースを提供いただいた。	11月～1月	産業文化部 観光にぎわい課	継続
24	企24	ネットヨタ神戸株式会社	(3)スポーツの振興に関すること。	12月21日（日）に開催した、第21回宝塚ハーフマラソン大会にご協賛いただいたほか、大会当日に電気自動車の給電機能を利用して、末広ステージの電源への代替として活用し、大会の盛り上げにご協力いただいた。	12月	社会教育部 スポーツ振興課	継続
25	企25	ネットヨタ神戸株式会社	(6)イベントを活用した地域活性化に関すること。	施設の活性化や賑わいを目的に、指定管理者がピピアめふ公益施設で主催する「防災ワークショップ」にて、水素自動車の仕組みを知るワークショップと、電気自動車を活用した保存食の試食会を実施いただいた。	1月	都市整備部 市街地整備課	継続
26	企26	エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社	(3)子ども・教育に関すること。	身近な取組がデカボ（脱炭素）につながるという環境学習を市内の小学校で実施。テレビを分解してリサイクルできる部品を探すワークショップや、市内のスーパーの店舗に実際にデカボ商品を探す体験を通じて、環境を意識した行動変容を促すことができた。	通年	企画経営部 企画政策課	新規
27	企27	エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社	(4)健康・福祉に関すること。	宝塚阪急において、認知症の方が自分のペースで買い物を楽しめる、スローショッピングの実施した。	通年	健康福祉部 高齢福祉課	継続
28	企28	エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社	(1)地域活性化に関すること。	令和6年度に宝塚阪急で市の名産品PRコーナーを移設・拡充していただき、現時点に至るまで「モノ・コト・バ宝塚」をはじめとする市名産品をPRさせていただいている。あわせて隣接するコーナーを市政情報の発信の場として提供いただき、チラシを配架したり市内マップの掲示を実施している。 また、イズミヤ小林店では、地域連携を目的として、11月に1階入口の催事コーナーにて、「モノ・コト・バ宝塚」事業者を含めた5社でマルシェを開催し、物販の場をご提供いただいた。	4月～	産業文化部 商工勤労課	継続
29	企29	エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社	(2)環境に関すること。	市内の放課後児童クラブにおいて、ハンバーガー教材を用いた疑似購入体験を通じ、生産地や素材による環境負荷の違いを学ぶ授業を実施した。	8月	子ども未来部 アフタースクール課	新規

No.	企業大学No.	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)	部・担当課	新規/継続
30	企30	エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社	(2)環境に関すること。	ごみの発生を抑え、資源のリサイクルが進む循環型社会に向けた取組を目指し、食品トレイ・空きかん・牛乳パックなどの資源物の店頭回収を実施している阪急オアシスの市内店舗を市ホームページで紹介した。	10月	環境部 クリーンセンター管理課	継続
31	企31	阪急阪神ホールディングス株式会社	(6)教育・次世代の育成に関すること。	阪急逆瀬川駅構内に宝塚市立学校園における活動の成果物を掲示するための専用掲示板に子どもたちの作品等を掲示していただいた。	通年	学校教育部 学校教育課	継続
32	企32	阪急阪神ホールディングス株式会社	(7)その他、両者が協議し、必要と認めること。	意思決定の迅速さや、リスクマネジメントを実際の業務を通じて習得するため、市職員の研修派遣を実施した。	通年	総務部 人材育成課	継続
33	企33	阪急阪神ホールディングス株式会社	(7)その他、両者が協議し、必要と認めること。	12月21日(日)に開催した、第21回宝塚ハーフマラソン大会の広報協力として、阪急電鉄駅構内に募集パンフレットとポスターを設置いただき、広報PRにご協力いただいた。	12月	社会教育部 スポーツ振興課	継続
34	企34	阪急阪神ホールディングス株式会社	(6)教育・次世代の育成に関すること。	阪急阪神ホールディングスグループのSDGsトレイン未来のゆめ・まち号へ「あたたかく子どもを見守るまち宝塚」の啓発ポスターを掲出した。	1月～3月	企画経営部 企画政策課 子ども未来部 子ども政策課	新規
35	企35	大阪ガス株式会社	(1)脱炭素社会の実現に向けた政策の推進に関すること。	省エネルギー促進の取組として、市内の小学生と保護者を対象として、環境のことを考えながら買い物・調理・食事・片付けを行う「親子で挑戦!エコ・クッキング」を実施した。	8月	環境部環境 エネルギー課	継続
36	企36	大阪ガス株式会社	(1)脱炭素社会の実現に向けた政策の推進に関すること。	市内の子育て世代が中心に参加するイベント「こもたのカーニバル」に市と共同出展し、環境にやさしいガス管での作業を行うワークショップにより、参加者が環境に関心をもってもらう機会づくりを行った。	12月	環境部環境 エネルギー課	継続
37	企37	株式会社ストークス	(1)スポーツの振興、競技力の向上に関すること。	宝塚市民デーを設定いただいたり、兵庫県のふるさと納税を活用した無料招待枠をご提供いただき、市民スポーツの振興にご協力いただいた。	12月	社会教育部 スポーツ振興課	継続
38	企38	TOA株式会社	(2)次代を担う子どもたちへの教育や次世代の教育現場の実証に関すること。	令和6年度に市内小・中・たからづか支援学校36校に実施した「音診断学校放送ニーズ調査アンケート」や「音診断」の結果をもとにして開発された教育現場のニーズに沿った音響設備の試作機の提供を受け、モデル校で実際に機器を利用した実証を行った。	4月～3月	管理部 教育企画課	継続
39	企39	TOA株式会社	(6)前5号のほか、甲及び乙が協議し、必要と認めること。	12月21日(日)に開催した、第21回宝塚ハーフマラソン大会の会場である武庫川河川敷に同社のスピーカーを設置した。	12月	社会教育部 スポーツ振興課	継続
40	企40	TOA株式会社	(2)次代を担う子どもたちへの教育や次世代の教育現場の実証に関すること。	市内小学校を対象に会社見学と段ボールスピーカー制作をさせていただき、音に関する学びの機会を提供いただいた。	1月	学校教育部 学校教育課	継続
41	企41	株式会社みなと銀行	(5)前4号のほか、甲及び乙が協議し、必要と認めること。	12月21日(日)に開催した、第21回宝塚ハーフマラソン大会にご協賛いただいた。	12月	社会教育部 スポーツ振興課	継続

No.	企業大学No.	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)	部・担当課	新規/継続
42	企42	尼崎信用金庫	(3)スポーツの振興及び健康増進に関すること。	12月21日(日)に開催した、第21回宝塚ハーフマラソン大会にボランティアとして、運営業務にご従事いただいた。	12月	社会教育部 スポーツ振興課	継続
43	企43	尼崎信用金庫	(1)産業振興に関すること。	市内の事業者が脱炭素経営へ意識を向け、取り組む契機となることを目的とした「会社と地球を変える 経営セミナー」を市と共催した(R8.3.6)。	3月	環境部環境 エネルギー課	新規
44	企44	新明和工業株式会社	(6)その他、両者が協議し、必要と認めること。	市内小学校を対象に工場見学をさせていただき、ものづくりや最先端技術について学ぶ機会を提供いただいた。	12月	学校教育部 学校教育課	継続
45	企45	新明和工業株式会社	(6)前5号のほか、甲及び乙が協議し、必要と認めること。	12月21日(日)に開催した、第21回宝塚ハーフマラソン大会にご協賛いただいた。	12月	社会教育部 スポーツ振興課	継続
46	企46	株式会社若水及び特定非営利活動法人銀座ミツバチプロジェクト	(4)教育・次世代の育成に関すること。	市内小学校を対象に都市養蜂やミツバチの生態等について授業をしていただき、環境について学習する機会を提供いただいた。	10月	学校教育部 学校教育課	継続
47	企47	株式会社ティップネス	(5)前各号に掲げるもののほか、甲及び乙が協議し、必要と認めるもの	「親子で学ぶ!命を守る講習」をテーマに、市内の小学生と保護者を対象とした講習会を開催しました。救急隊員による心肺蘇生法を中心とした応急手当の指導のほか、ティップネスのスタッフによる着衣水泳の指導も行われた。	7月	消防本部 救急課	新規
48	企48	株式会社ティップネス	(1)健康・福祉に関すること。	ティップネス宝塚店が、他店と比較して、利用者の年齢が圧倒的に高いという特徴があり、スタッフの高齢者への対応力を高めることを目的として、全スタッフに対し、認知症サポーター養成講座を実施した。	8月	健康福祉部 高齢福祉課	新規
49	企49	株式会社ティップネス	(2)スポーツの振興に関すること。	12月21日(日)に開催した、第21回宝塚ハーフマラソン大会の試走会の企画運営や当日、ファミリーの部を対象とした準備体操を行っていた。	12月	社会教育部 スポーツ振興課	継続
50	企50	パナソニックホームズ株式会社	(1)エリアマネジメント活動の推進に関すること。	パナソニックホームズ(株)と本市は、公民連携による付加価値創出型のまちづくり(中山台ニュータウン再生事業)を進めている。この趣旨に賛同する25社とともに「中山台エリアプラットフォーム」を3月30日に設立した。また、本エリア内で市が取組を進めている旧中山五月台小学校等跡地利活用との連携について検討した。	3月	企画経営部 企画政策課	継続
51	企51	明治安田生命保険相互会社	(1)高齢者をはじめとした市民のQOLの向上に関すること。	5月8日(土)、9日(日)の2日間にわたって、中央公民館及び末広中央公園で「KIDSフェス」を開催した。参加企業による子どもたちの職業体験ブースや、ミニ四駆レースなどを実施した。多くの子ども連れに参加いただき、子どもたちが様々な体験をする機会になった。【宝塚大会議企画】	5月	企画経営部 企画政策課	継続
		ネットトヨタ神戸株式会社	(6)イベントを活用した地域活性化に関すること。				
		生活協同組合コープこうべ	(5)若者の自己実現やキャリア形成の支援に関すること。				
		株式会社ティップネス	(4)子ども・教育に関すること。				

No.	企業大学No.	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)	部・担当課	新規/継続
52	企52	エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社	(2)環境に関すること。	生ごみを堆肥に変えて土を作り、宝塚で生まれた苺の品種「宝交早生」を栽培する資源循環プロジェクトを実施した。市内小学校を対象に、宝交早生に関する講座やコンポストによる堆肥作り、人の暮らしとミツバチのつながりに関する授業、苺の苗植え体験を行った。 また、エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社が「コンポストチャレンジデイズ」を本市で実施し、市民等とともに堆肥を活用して花のみちの緑化活動や宝塚阪急での苺の苗植えを行った。	通年	企画経営部 企画政策課 都市安全部 公園河川課	継続
		株式会社若水及び特定非営利活動法人銀座ミツバチプロジェクト	(3)市民等と協力した地域活性化に係る取組に関すること。				
53	企53	ネットトヨタ神戸株式会社	(6)イベントを活用した地域活性化に関すること。	西谷地区の休耕田で昔ながらの方法で参加者でお米づくりを行う「100人お米づくりプロジェクト」を実施し、ボランティア送迎や収穫したお米の販売で協力をいただいた。	通年	企画経営部 企画政策課	新規
		株式会社セブン・イレブン・ジャパン	(3)環境保全に関すること。				
54	企54	株式会社みなと銀行	(4)産業振興に関すること。	本市において若者世代の起業件数が低迷している中、働く選択肢としての起業を認知していただくこと、また、起業について関心を持っていただくことを目的として、兵庫県立宝塚高等学校、武庫川女子大学及び園田学園大学にて、起業機運醸成セミナーを開催した。また株式会社みなと銀行を講師としてお招きし、起業について考えるきっかけとなる講義をしていただいた。	6月、10月、 11月、1月	産業文化部 商工勤労課	継続
55	大1	武庫川女子大学					継続
56	大2	園田学園大学					新規
57	大3	関西学院大学	(1)人材育成に関する事項。	講義の聴講及び受講者との交流を通じて、職員の資質向上を図るため、法科大学院司法研究科への聴講生(職員)派遣を実施した。	4月~7月	総務部 人材育成課	継続
58	大4	関西学院大学	(4)産業振興に関する事項。	本市において若者世代の起業件数が低迷している中、働く選択肢としての起業を認知していただくこと、また、起業について関心を持っていただくことを目的として、関西学院大学SparkBaseにて、起業機運醸成セミナーを開催した。	12月	産業文化部 商工勤労課	新規
59	大5	甲子園大学	(6)その他、両者が協議して必要と認める事項に関すること。	甲子園大学 栄養学部 食創造学科の学生がオリジナルレシピを考案し、開発した「宝塚牛カレー」をふるさと納税の返礼品として提供を行っている。	通年	企画経営部 企画政策課	継続
60	大6	甲子園大学	(4)産業の活性化に関すること。	本市において若者世代の起業件数が低迷している中、働く選択肢としての起業を認知していただくこと、また、起業について関心を持っていただくことを目的として、甲子園大学にて、起業機運醸成セミナーを開催した。	5月、6月	産業文化部 商工勤労課	新規
61	大7	甲子園大学	(3)健康増進、食育など市民生活の充実にに関すること。	第3次たからづか食育推進計画を策定したことを市民に周知、啓発を行うため、市立芸術文化センター「たからの市」(7/13・10/12)、武庫川河川敷で開催された「ベーカリー&カフェフェス」(11/30)に出店した「食育ブース」にて食に関する体験型イベントを行った。	7月 10月 11月	健康福祉部 健康推進課	継続

No.	企業大学No.	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)	部・担当課	新規/継続
62	大8	甲子園大学	(6)その他、両者が協議して必要と認める事項に関する事	思春期の子ども心の理解と対応について学ぶとともに、意見交換をするなかで関係性を振り返り、より良い関わり方を考える機会として、概ね10～15歳児の保護者を対象に「思春期講座」を甲子園大学と共催で実施した。	7月、2月	子ども未来部 子ども家庭支援センター	継続
63	大9	甲子園大学	(6)その他、両者が協議して必要と認める事項に関する事	1歳児の心理的発達の概要を学び、意見交換をする中で自分の子どもの状況や保護者としての関わり方についての確認と、子育て不安の解消の機会とするため、第1子で1歳児の保護者を対象に「1歳児きらきら子育て講座」を甲子園大学と共催で実施した。	9月、2月	子ども未来部 子ども家庭支援センター	継続
64	大10	甲子園大学	(3)健康増進、食育など市民生活の充実に関する事	宝塚市学校給食展の準備、当日運営にご協力いただいた。	1月	管理部 学事課	継続
65	大11	武庫川女子大学	(4)教育、文化・芸術、スポーツの振興に関する事	「たからづかデジタルミュージアム」内に子ども向け教育コンテンツ「発見！たからづかイラストマップ」を制作するにあたり、武庫川女子大学教育学部教育学科の藤井達矢教授とそのゼミ生（令和6年度の4年生）に、卒業制作としてコンテンツで使用する絵の制作を依頼した。 「発見！たからづかイラストマップ」は宝塚市の文化遺産・施設・動植物を3つの時代（古代・中近世・近現代）の地図から紹介するコンテンツで、令和8年3月に公開を開始した。	通年	社会教育部 社会教育課	継続
66	大12	武庫川女子大学	(8)その他、両者が協議して必要と認める事項に関する事	子どもの権利サポート委員会を周知するため、大学在籍の学生を対象にマスコットキャラクターの募集を行った。	4月・5月	子ども未来部 子ども政策課	新規
67	大13	武庫川女子大学	(5)子育て支援、健康増進、社会福祉、生涯学習など市民生活の充実に関する事	①フレイル予防講演会でのウォーキング講座の実施 ②フレイル予防月間及びフレイル予防に効果的な食事の動画提供 ③75歳健康づくりスタートアップ講座栄養編講話	①5月 ②2月 ③7.12.3月	市民交流部 高齢福祉課	継続
68	大14	武庫川女子大学	(4)教育、文化・芸術、スポーツの振興に関する事	12月21日（日）に開催した、第21回宝塚ハーフマラソン大会にて同大会に物品協賛をいただいた「マルコメ株式会社」の甘酒を使ったアレンジレシピの考案と当日の商品提供にご協力いただいた。	12月	社会教育部 スポーツ振興課	継続
69	大15	神戸女学院大学	(5)産業振興、文化・芸術、自然環境に関する事	ソリオ1のピアノを神戸女学院大学音楽学部の学生に演奏いただき、「ミニコンサート」を開催した。市内に設置しているストリートピアノをPRすることができた。	6月	産業文化部 文化政策課	継続
70	大16	宝塚大学	(8)その他、両者が協議し、必要と認める事	市立売布小学校で開催した市総合防災訓練（避難所運営訓練）で、宝塚大学の学生に避難所体験会での司会及び避難者として参加していただいた。また、防災啓発ブースの展示で、市民への防災啓発にご協力いただいた。	2月	都市安全部 総合防災課	新規
71	大17	芸術文化観光専門職大学	(5)地域の政策課題等に関する学術・研究に関する事	芸術文化観光専門職大学の学生が本市でフィールドワークを行い、手塚治虫記念館・文化芸術センター・宝塚文化創造館」の連携した取組について市に提案していただいた。	2月	産業文化部 文化政策課	継続
72	大18	園田学園大学	(4)産業の振興に関する事	植木まつり会場において、学生によるキッチンカーの出店をしていただいた。	10月	産業文化部 農の魅力創造課	新規